

笑顔のひろば

ひとりりで障害者協働支援ネットワーク

第84号

1面：第69回定例会報告／山王小学校訪問報告／第70回定例会開催案内 2面／3面：道草「映画会」・講演会報告 4面：ネットワーク参加団体からのお知らせ：NPO活きる「新年会」「楽ちん介護」開催報告 5面：チャレンジの広場「日立市卓球バレー交流大会」「チャレンジの広場」開催報告／発行／連絡先／会員募集／寄付金受け入れ

第69回定例会報告



1月16日（火）福祉交流センターに於いて第69回ひとりりで障害者協働支援ネットワークの定例会を開催しました。行政からの報告で、1月1日に発生した能登半島地震に取手市からも職員・保健師を派遣し、避難所における支援業務にあたっていると報告がありました。

ネットワークからは10月の定例会から本日までの報告があり、その後出席者全員での情報交換・今後の活動についての問題など、活発な意見が交わされました。

山王小学校訪問報告

1月30日（火）小規模特認校である取手市山王小学校を訪問し、校長先生からお話を聞くことができました。山王小は学校運営協議会の制度を導入して以下のような特色ある教育を行っています。

①国際教育 ②創造する力・表現する力 ③異学年集団・縦割り班活動 ④体験活動 ⑤少人数授業

学校、保護者、地域住民や専門家集団との連携を学校運営に反映しています。授業中で生徒たちには会えませんでした。興味深く、実際の活動を見学してみたいと思いました。



第70回定例会開催のご案内

4月の定例会は総会にあたります。皆様の参加をお待ちしています。

ネットワーク会員・市担当部・社会福祉協議会・市議会議員・民生委員・その他関係機関の皆様のご出席をお願いします。会員以外の障害者支援団体・個人の方もお気軽にご参加ください。定例会は、4月、7月、10月、1月に開催します。

- 日 時 令和6年4月16日（火）10：00～12：00
- 場 所 取手市福祉交流センター 多目的ホール
- 議 題 行政からの報告／ネットワークからの報告／情報交換 その他

「道草」映画会・講演会報告

1) 開催の経緯

映画「道草」は重度知的障害のある人が24時間の重度訪問介護を活用して地域で自立した生活を送る様子を描いたドキュメンタリー映画です。

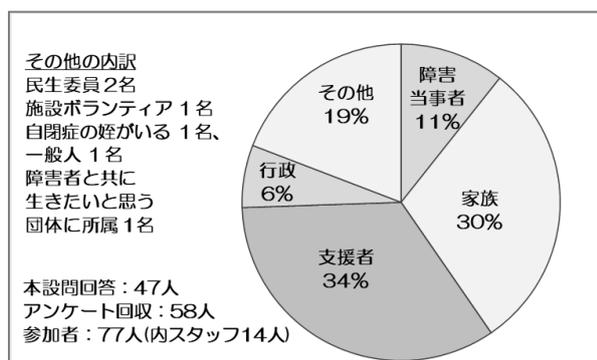
私は「道草」の上映&ミニ講演会が昨年(2022)の2月18日(土)に「茨城に障害のある人の権利条例をつくる会」(略称:いばけんつ)の主催でつくば市にて開催されることを当ネットワークのメーリングリスト(ML)で知り、以前より観たかった映画だったので、万難を排して参加しました。映画で紹介された、重度訪問介護を利用したパーソナルアシスタンスは、通所事業所での集団的なサポートになじめない重度知的障害・自閉症の息子にとって最良の支援かも知れない、こういう支援が欲しいと感じました。一方、近隣ではこのような支援の例は無く知られてなく、取手でも是非上映会を開催し、地域の様々な立場の方に知っていただき、利用が広まって欲しいと考えました。

その思いを参加報告とともにMLに投稿したところ、賛同をいただき、3月開催の役員会において、ミニ講演を含む映画会だけでなく、関連する内容(映画制作の経緯、パーソナルアシスタンスに関する現状と課題、障害者権利条例と日本の福祉制度とのギャップなど)をじっくり学ぶための講演会を映画会の翌週に開催する方針が決定され、障害者週間での開催に至りました。

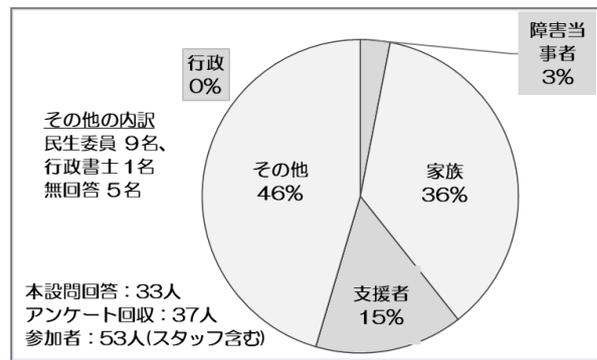
(高山孝信)

2) 映画会・講演会で実施したアンケート結果

実施したアンケートより集計した両イベント参加者のお立場の内訳を下の円グラフに示します。障害当事者・家族・支援者の他に、実に様々なお立場の方に参加いただきました。



(a) 11/26 上映&ミニ講演会



(b) 12/3 講演会

図 参加者お立場の内訳(回収アンケートより)

今回映画会&ミニ講演会と講演会には、参加してくださった方にアンケートへの記入をお願いしました。たくさんの方が自由記述欄にメッセージを寄せてくださいました。

その貴重な感想の中から一部紹介いたします。

〈映画会 & ミニ講演会〉

- ・地球上に縁あって誕生した私達 平等に生きなければ…
- ・映画、すばらしかった。いろんな人に観ていただきたい！
- ・重度の障がい者の支援でも手をつながずに支援している姿に目をうばわれた。手をつなぐということも身体拘束になってしまうことになることも再度認識した。
- ・その人らしく生きていける事を大切に生活できるような支援を出来る環境に努めたい。行政の力も重要です。

〈講演会〉

- ・とても有意義な時間となりました。地域の中で暮らすことの重要性を改めて感じました。
- ・パーソナルアシスタンス、知りませんでした。これからの日本の福祉の課題となると思います。今日の講演会、出席できて良かったです。
- ・障害者権利条約の趣旨に沿った法整備と実際にそれが機能するしくみが出来て、広く世に拡大していくことを望みます。
- ・知的障害者の自立を知って目からウロコでした。でも、日本はまだまだですよ。
- ・ハードルは高いと思いますが、一つの理想（方向）を知れたことは私にとって良かったですし、社会にとってもこれから大事なことのように感じました。海外の実情も知りたいと思いました。

3) 映画会・講演会の開催を終えて

今回の映画会・講演会のスタッフとして「道草」の映画をDVDで先に1度鑑賞しました。Ryosuke くんに関しては、1回目は、こういう生活ができるんだなあ、大都市の東京や神奈川県だからできるのではないだろうか、という漠然とした感想でした。

映画会当日に2回目として鑑賞し、尾野さんや岡部先生の講演を聞いて、新たに感じたことがありました。それは、こういうものだからしょうがない、既存の型にはめるしかないといった考え方になっていたのではないかということです。本人ファーストの考え方になっていなかったのだと改めて気づきました。

それぞれの障害当事者にとっての普通の生活を送るためのすべてに可能なサービスがあるわけではないけれど、せめてまず考え方をフラットにして、当事者にとってどうすることがその方の普通の生活に近づくのかということをお願いしたいと思います。

末尾になりましたが、今回の映画・講演会に参加して下さった皆さま、開催にあたってご尽力いただいた皆さまにお礼申し上げます。ありがとうございました。

(美田俊子)

映画「道草」を観て

映画「道草」を観て、私と散歩や外出に出かける以外は殆ど引きこもりのような生活を送っている息子にも、「道草」の Ryosuke さんと同じように生き生きとした生活を送れるようにさせたいとつくづく思いました。しかし、息子の場合は幸いにも、本人の特性(重度知的障害&自閉症)と環境とのミスマッチによって生じる2次障害と言われている強度行動障害を発症していないため、現行の制度で「強度行動障害のある者」に利用枠が制限されている重度訪問介護を残念ながら活用できません。今後は、支援を必要としている人がもっと幅広く利用できる制度への改善を目指していきたいと思っています。

一方、息子は現制度下で重度訪問介護を利用できないものの、必要な支援を少しでも受けられるよう、今回新たに移動支援を利用契約してみました。そして、ヘルパーさん同行でジュースとお弁当をコンビニで買って帰るといふ、息子にとって初めての”プチ「道草」”を体験することができました。今後の”「道草」生活”の進展が楽しみになってきました。

(高山孝信)



映画会終了後の関係者集合写真



講演会終了後の関係者集合写真

《ネットワーク参加団体・会員からのお知らせ》

《NPO法人活きる》

(宮脇 貞夫 記)



◇新年会＝1月7日(日) NPO法人活きるの新年会を4年ぶりに開催しました。ボランティアさんの減少やそれぞれの事情で今回は27人の方々が参加してくれました。ボランティアだけの事業でこれだけ多くの方が参加してくれるのはとても嬉しい事です。理事長の久しぶりの挨拶と乾杯の音頭で会は始まり美味しいお料理とお酒が進むと、とても和やかでにぎやかに盛り上がりました。この雰囲気でもいい感じの活動ができることを期待しています。

◇楽ちん介護＝1月21日(日) 令和6年初の楽ちん介護はとても寒く、本降りの雨です。そんな中、なんと6人の受講者が来られたので、思わずうれしい声を発してしまいました。うち5人はプロの方でした。再受講は2人。お手伝いすれば立ち上がれる人の介護から全介助の方のトランスまで。先生からコツを聞いてうまくいくと、大変だった介助がいきなり簡単になる驚きを感じられたと思います。

次回は3月17日開催です。是非ご参加ください。無料です。



《チャレンジの広場》

◇日立市卓球交流大会= 2月12日(月)に卓球バレー日立市交流大会が行われ、茨城卓球バレー愛好会も参加しました。今回の大会は、茨城県内からチャレンジクラスに4チーム、イバラツキークラス5チームの参加でした。会場に入ると1年ぶりに会う方も多く、みんなたくさんの方と笑顔で話しをしていました。試合はリーグ戦で11点3セットマッチ。1試合目の最初の試合は緊張してガチガチでしたが、2試合目以降はリラックスしてみんなで声をかけあいながらプレーしていました。結果はチャレンジクラスで茨城卓球バレー愛好会が優勝することができました。いつも皆さん、応援ありがとうございます。

(勝山 博行 記)

◇チャレンジの広場開催= 2月25日(日)

本年度最後のチャレンジの広場が行われました。ボッチャと車椅子スラロームを通して、幅広い世代の方と交流することができました。また、どちらの競技でも熱い試合展開となり、とても盛り上がりました。次回行われるチャレンジの広場も楽しみです。

(柳岡 ようこ 記)



*** 年会費を集めます。ご用意ください。**

とりで障害者協働支援ネットワーク会報
「笑顔のひろば」第84号

- 発行：2024年 令和6年 3月1日
- 発行所：とりで障害者協働支援ネットワーク
- 発行者：染野和成
- 編集者：武藤ほとり 石塚照子 鈴木澄利
- 連絡先：取手市本郷5-4-21

TEL：090-1426-6588 (石塚)

時間：平日 10:00~15:00

E-mail：toride.ssknet@gmail.com

HP：http://ss192693.stars.ne.jp/index.htm

《会員募集》

ネットワークの趣旨に賛同する皆様の参加、ご協力をお願いします。随時入会を受け入れておりますのでお申し出ください。

寄付金についてもよろしくをお願いします。

○会費(年額)

- (1)正会員 団体1口 1,000円 1口以上
個人1口 500円 1口以上
- (2)賛助会員(団体・個人)
1口 1,000円 1口以上

■会費・賛助会費・寄付金の振込先■

口座番号 常陽銀行 取手支店

普通 1887469

口座名義 障害者協働支援ネットワーク
代表 染野 和成